

令和4年度 学校教育に関するアンケートについて

1月に行いましたアンケート結果についてお知らせします。ご協力ありがとうございました。

【保護者アンケート】

※回答数113

No	質問項目	平均 (4段階評価)
①	学校は、体育学習や集会などで、運動意欲を高めたり、運動能力を伸ばしたりして体力向上に取り組んでいる	3.4
②	学校は、保健教育や食に関する指導などを行い、心や体の健康づくりに取り組んでいる。	3.5
③	学校は、分団登校や交通・防犯・防災訓練などを行い、子どもの安全への意識が高まるように取り組んでいる。	3.6
④	学校は、道徳教育や人権教育、特別活動を通して、互いを認め合い、しなやかな心を育てるように取り組んでいる。	3.4
⑤	学校は、運動会や作品展、縦割り遠足などの学校行事において、異学年交流を取り入れ、子ども同士の好ましい人間関係を育てようとしている。	3.8
⑥	学校は、学校生活アンケートや教育相談など、子どもからの相談に応じることで、いじめやトラブルに対応している。	3.5
⑦	子どもは、「授業が分かりやすい」と言っている。	3.2
⑧	学校は、考えを広げたり、深めたりすることができるように工夫した授業をしている。	3.3
⑨	学校は、読書タイムや図書館環境整備などを通して、読書活動の充実に取り組んでいる。	3.4
⑩	学校は、懇談会や学校・学年だより、ホームページなどで学習や学校生活の様子を、分かりやすく伝えている。	3.5
⑪	学校は、地域や保護者の信頼に応えるように努力している。	3.4

【保護者アンケートの結果より】

- どの項目においても、3点以上で昨年度より高い評価をいただきました。様々な教育活動にご理解いただきましてありがとうございました。
- 特に、項目⑤では、本校の特色である、縦割り班の活動による異学年交流のよさをご理解いただけていると考えます。本年度も感染対策を取りながら、運動会や作品展、遠足、児童集会等で取り組んできました。高学年は、班をまとめようとする姿やみんなが楽しめるように自分たちで考える姿がより見られるようになってきました。今後も、縦割り班の活動を通して児童の好ましい人間関係を育んでいきたいと思います。
- 項目⑦が全体の中では、やや低い結果でした。日々の学習を楽しみながら主体的に取り組めるように授業の工夫をしてきましたが、十分ではありませんでした。現在、文部科学省から「令和の日本型教育」として個別最適な学びと協働的な学びの必要性が言われています。今年度も教職員同士で研修を繰り返してきましたが、今後も引き続きやっていきたいと思います。

【保護者様からのご意見】 ○…よかった点 ●…ご意見・ご要望

- 毎日楽しく通っています。先生方のおかげかと思えます。いつもありがとうございます。
- いつも丁寧なご指導ありがとうございます。
- 授業がとても分かりやすいと言っています。いつもありがとうございます。
- 家でも、学校で学んだことを楽しくやっているの、今までできなかったことができるようになり、とても工夫してくださり感謝しています。
- 欠席等の連絡がネットからできるようになり、とても助かります。
 - 絆ネットには、欠席連絡のほかに、学校・学年だよりの送信もしています。ぜひご覧おきください。
- 2月にあった6年生対象の思春期セミナーは、助産師から命についての話を聞くことができることはとても有意義だと思えます。6年生だけでなく、低学年の頃から段階的にあるとよいと思います。
 - 昨年度まで2年生において、助産師を講師に招いて「命を大切に授業」を行っていました。今年度は新たな取組として6年生に「思春期セミナー」を行いました。どちらも行いたいのですが、その学年での必要性や予算配分など様々考慮して検討していきたいと考えています。
- もっと挨拶ができる子が増えるといいなと思えます。旗当番をしていると無視のする子ばかりです。地域の方も挨拶を返してくれない子ばかりだと嘆いていました。
 - 私どもも同様に課題だと痛感しております。そのため、今年度は、児童会が挨拶運動に力を入れてきました。朝会時に挨拶活動をしたり、挨拶マスコットを作ったりして、児童が挨拶をするきっかけを作ることができたと思っております。現在、校内ですれ違うと挨拶する児童が増えてきております。今後とも家庭や地域と共に、元気よく挨拶できる児童になるように育てていきたいと思っております。
- 年度途中で担任の先生が変わり、子どもに少し戸惑いがありました。年度末などきりがよい所で変わらなかったのかなと思いました。
 - 任期の都合上、担任を変更したことは、お詫びするしかありません。また、児童に少なからず不安を与えてしまったことについて申し訳なく思っております。以後、児童の心のケアをするとともに、楽しい学校生活を送れるように指導していきます。
- 授業中騒がしいことが多々あったようです。先生の指導方針で注意をあまりしてくれず、授業内容が聞こえず困っていたようです。元々、静かに授業を受けている児童に対しての配慮が足りなかったように感じました。
 - 大変申し訳ございませんでした。学級のみなが学習できるように配慮してまいります。学習したいという意欲を踏みにじるこないように指導の工夫をしていきます。
- タブレットの必要性を感じない。教科書+タブレットだとランドセルが重たくかわいそう。
 - 現在、タブレットの重さを配慮し、教科書等を学校に置いておくことをしています。もちろん、家で今日の学習の復習をしたい場合は持ち帰りを許可しています。タブレットでの学びは、文部科学省が20年後の社会生活を見通し、必要であると考えた結果、日本中の小学生が今からICT機器を操作できるようにと一人一台タブレットを支給しました。しかし、私どもの指導の足りなさによって、児童にタブレットのよさを実感させられなかったことが、保護者様に必要性を感じてもらえない原因だと考えます。今後は、ICT機器の有効な使い方をより模索し、指導していきます。

学校教育に関するアンケートやさまざまなご意見ありがとうございました。今年度をしっかりと振り返り、来年度に生かしていこうと思えます。なお、先日行われました学校評議員会 兼 学校関係者評価委員会では、縦割り班での異学年交流は、児童の成長にとってとても有意義であることや、情報モラルについては十分な指導が必要であること、児童が外で元気に活動する姿が増えることなどのご意見をいただきました。

1年間、本校の教育活動にご理解、ご協力いただきましてありがとうございました。また、来年度よろしく願いいたします。